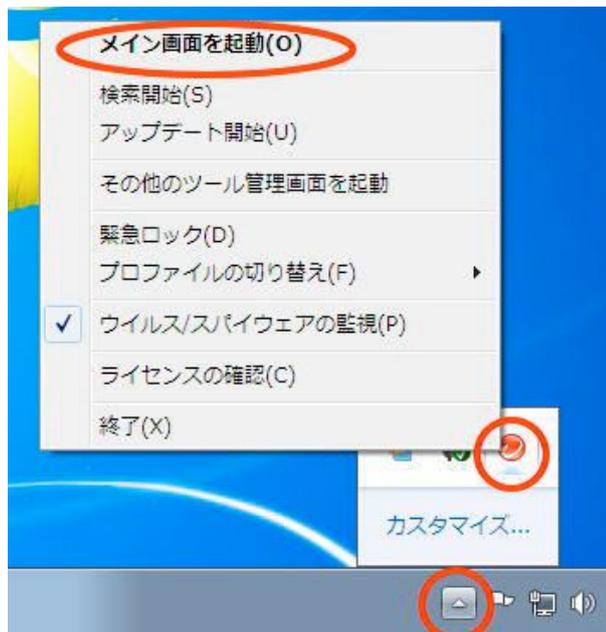


ウイルスセキュリティソフトの設定について

【TrendMicro 社 ウイルスバスターの場合】※画面はバージョン 2010 の場合です

必要な場合は、下記の設定を行ってください。

1. デスクトップ上の「ウイルスバスター2010」のアイコンをクリックするか、画面右下の「ウイルスバスター2010」のアイコンをクリックし「メイン画面を起動 (O)」をクリックします。



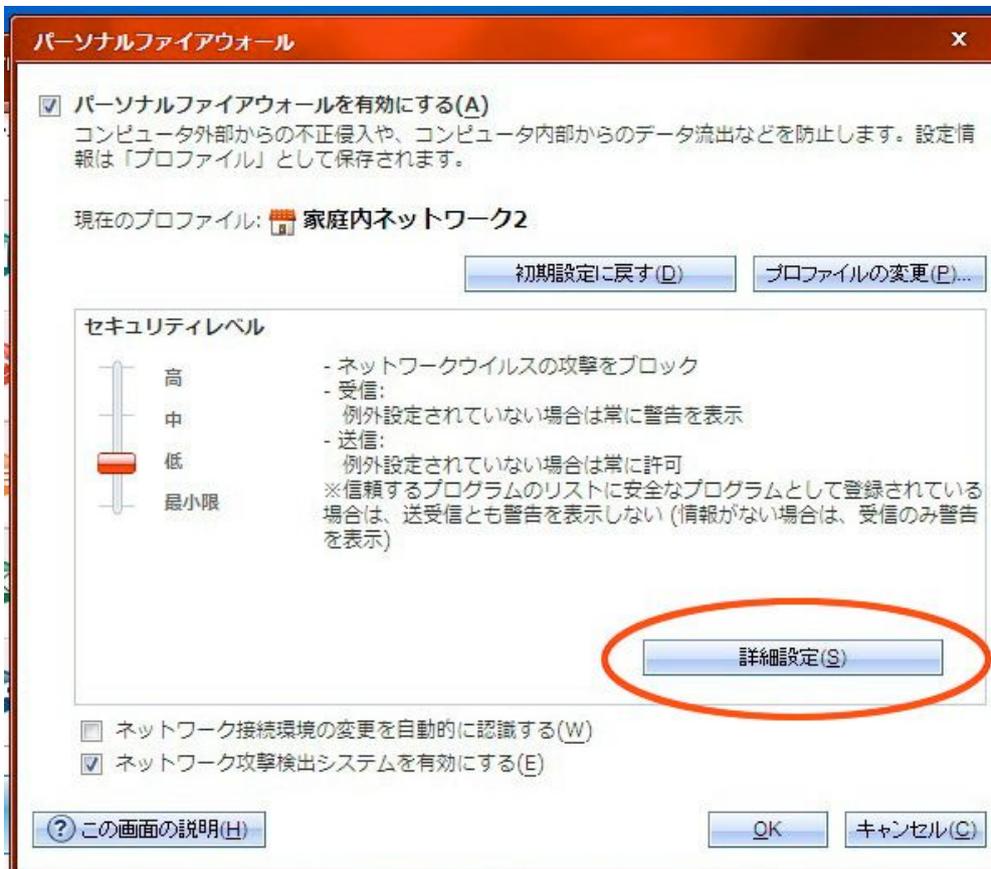
2. メイン画面が表示されるので、「パーソナルファイアウォール」をクリックします。



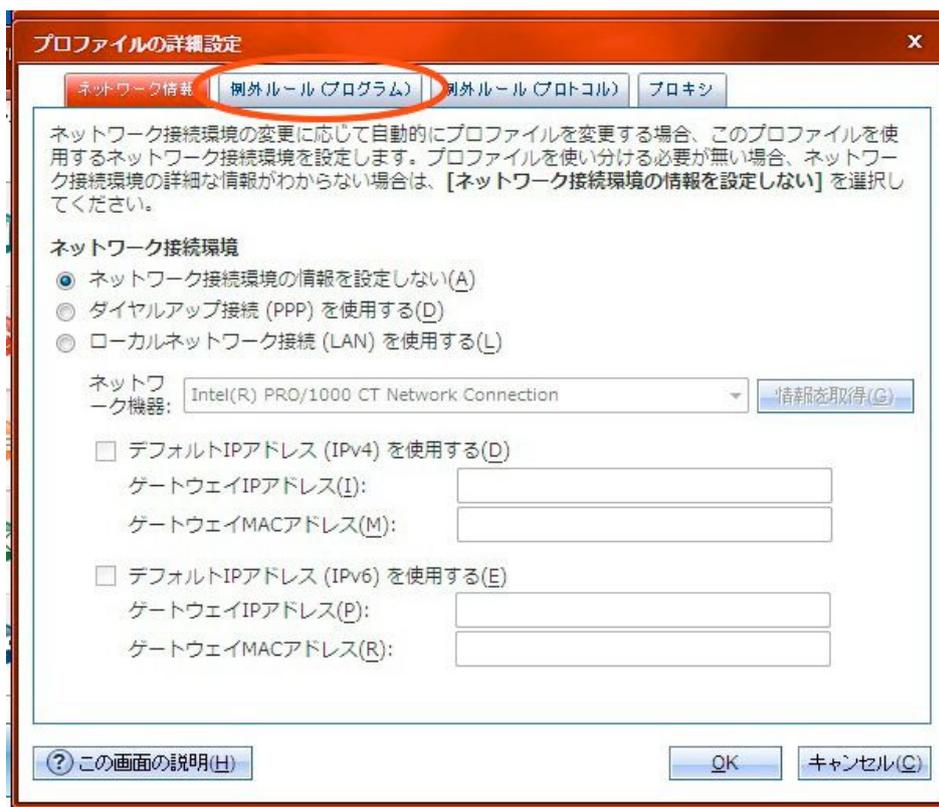
3. 「パーソナルファイアウォール(P)」の「設定」をクリックします。



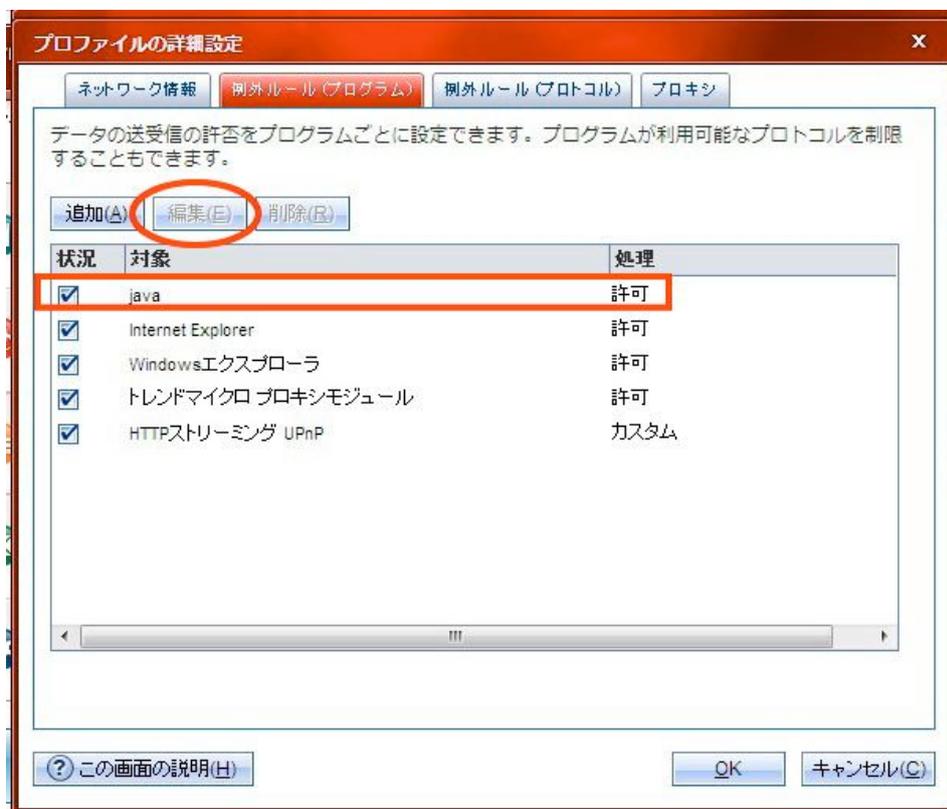
4. 「詳細設定 (S)」をクリックします。



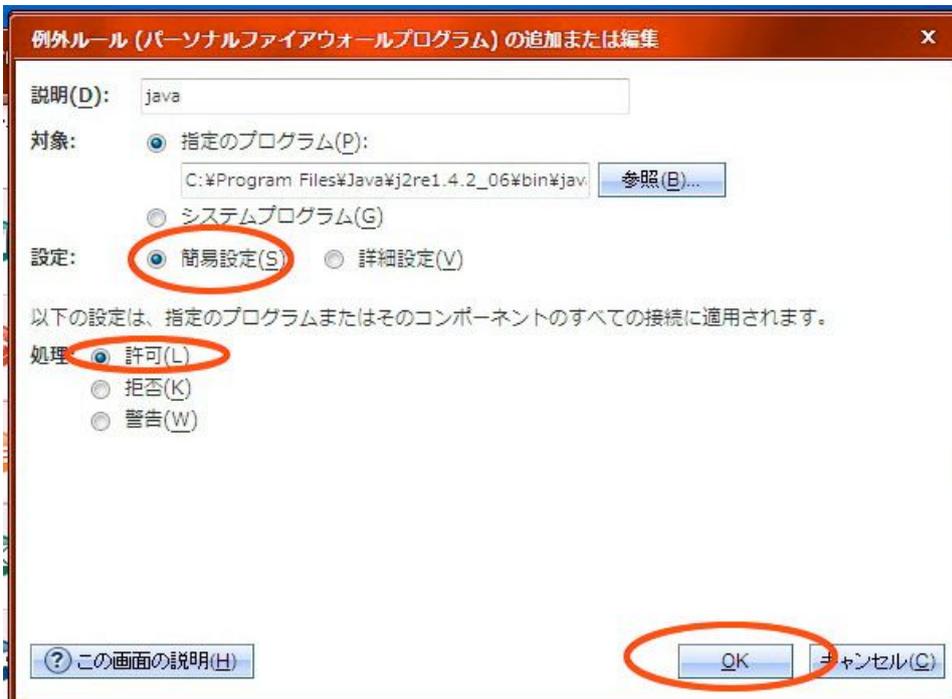
5. プロファイルの詳細設定内の「例外ルール (プログラム)」タブをクリックします。



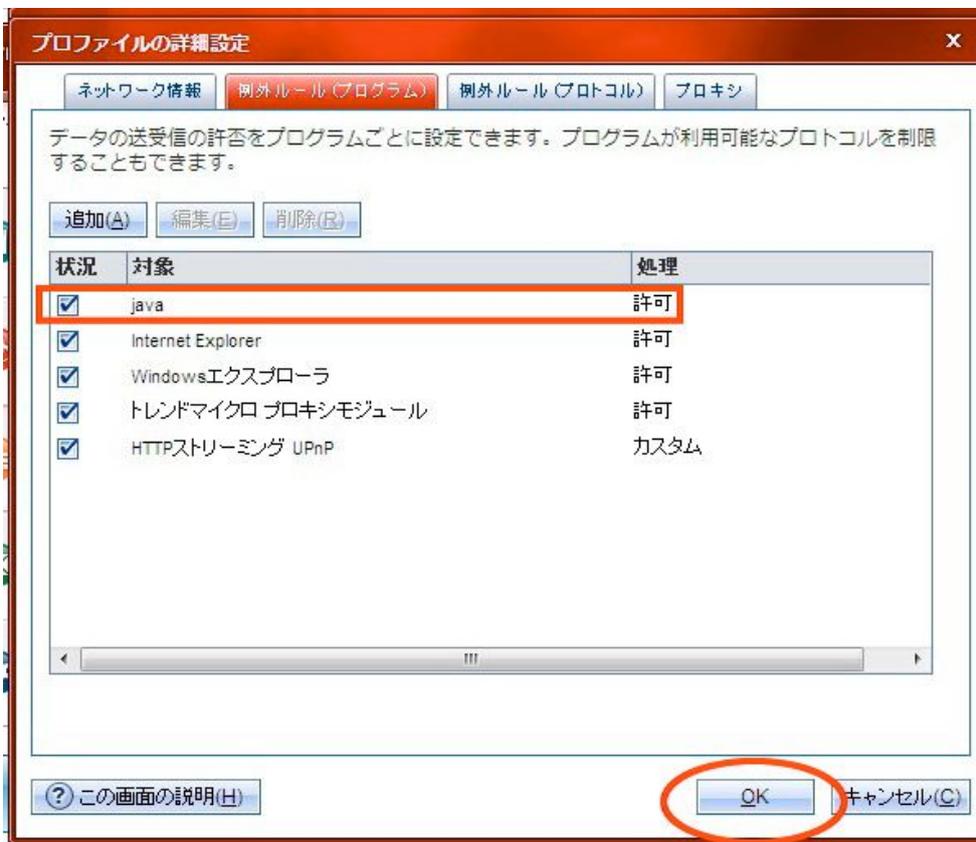
6. 「JAVA」を選択し、「編集 (E)」をクリックします。(一覧に java が無い場合は、下記の※一覧に java を追加する方法をご覧ください。)



7.以下設定画面が表示されるので、設定では「簡易設定 (S)」を選択し、処理では「許可 (L)」をクリックし、最後に OK をクリックします。**注意：ここで指定のプログラムが、j2re1.4.2_06 のバージョンを指定していることを確認しておいてください。**



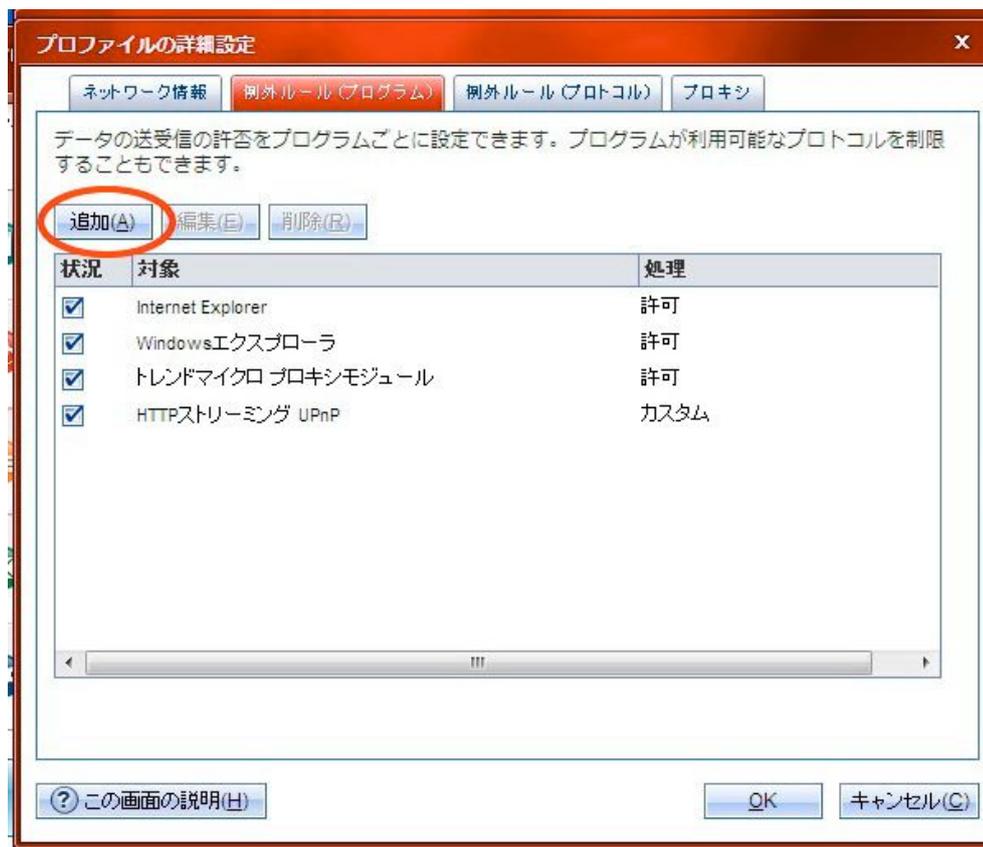
8.以下の画面に戻るので、JAVA の処理が「許可」になっていることを確認し **OK** をクリックします。



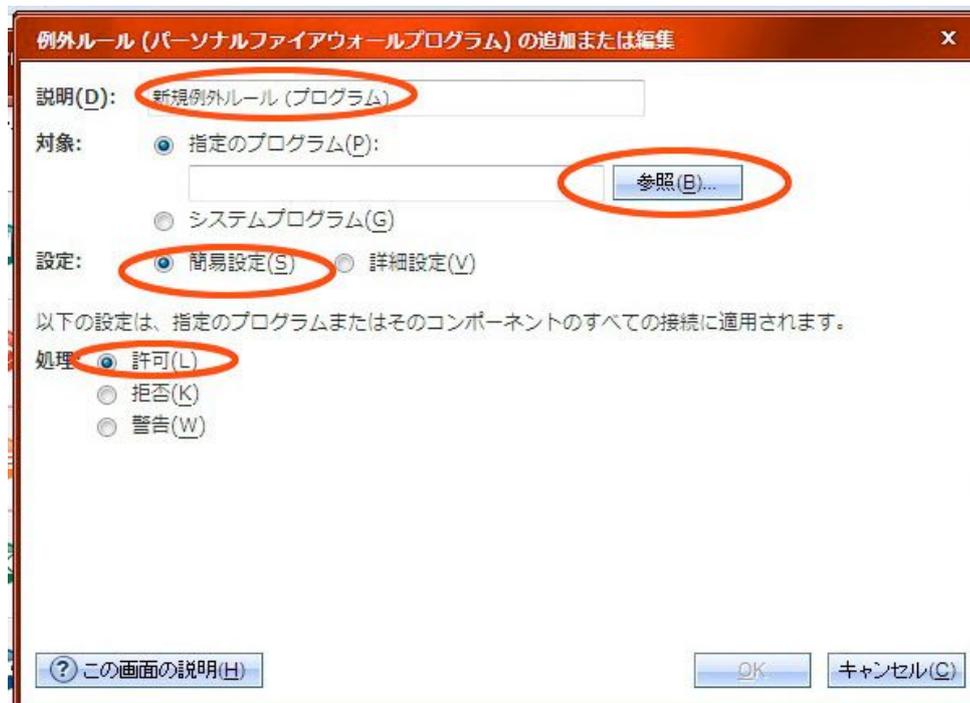
9.以上で設定は完了です。

※一覧に java を追加する方法

1.例外ルールの画面で、追加を押します。



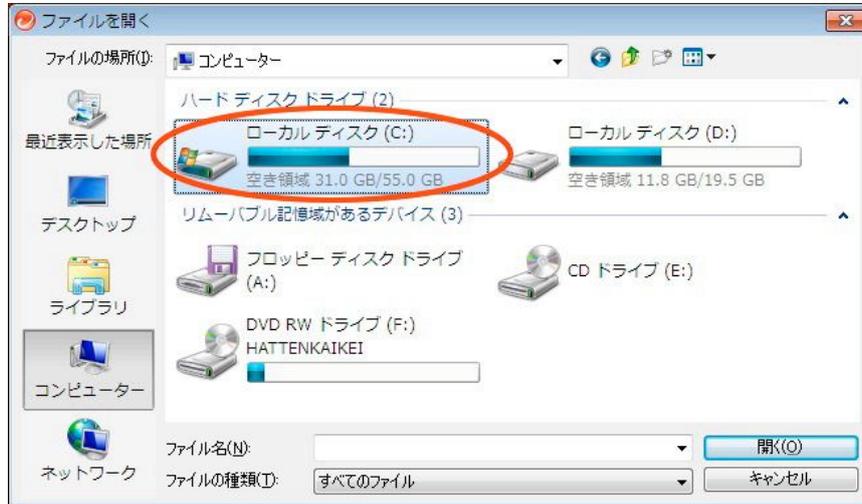
2.下記の印が付いている部分を編集します。



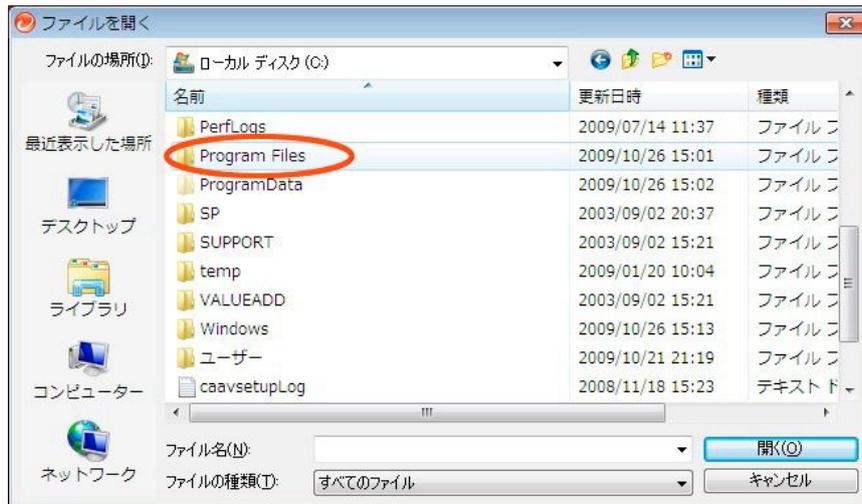
説明 : java と入力します。

対象 : 指定のプログラムを選択し、参照ボタンを押します。

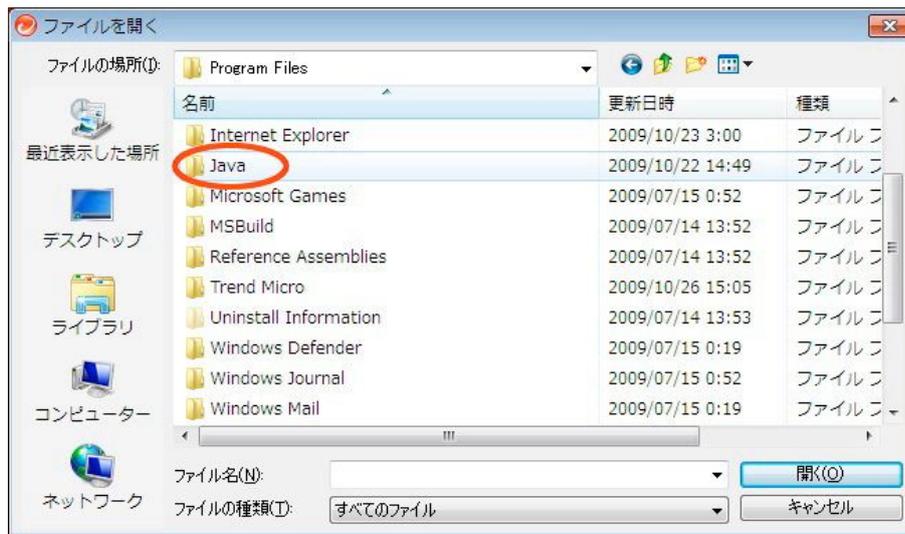
下記の画面が表示されるので、ローカルディスク(C:)を選択します。



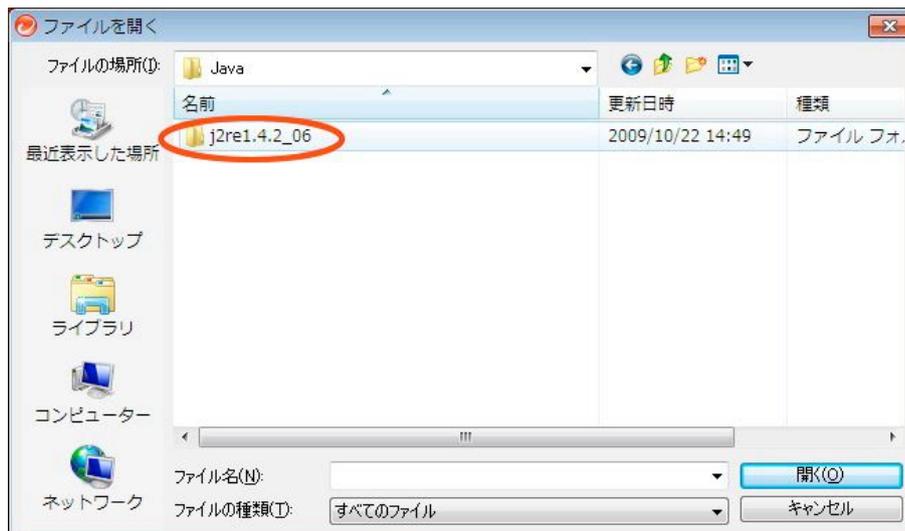
Program Files を選択します。



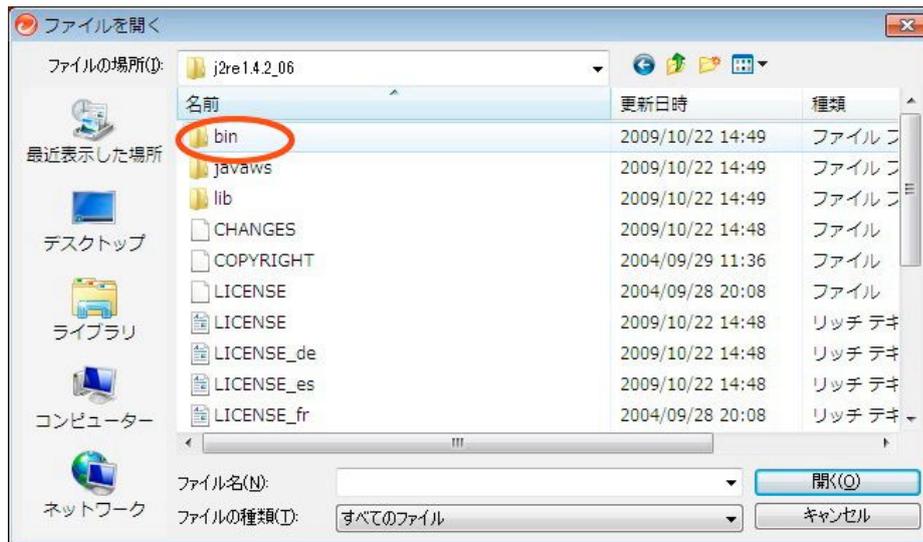
Java を選択します。



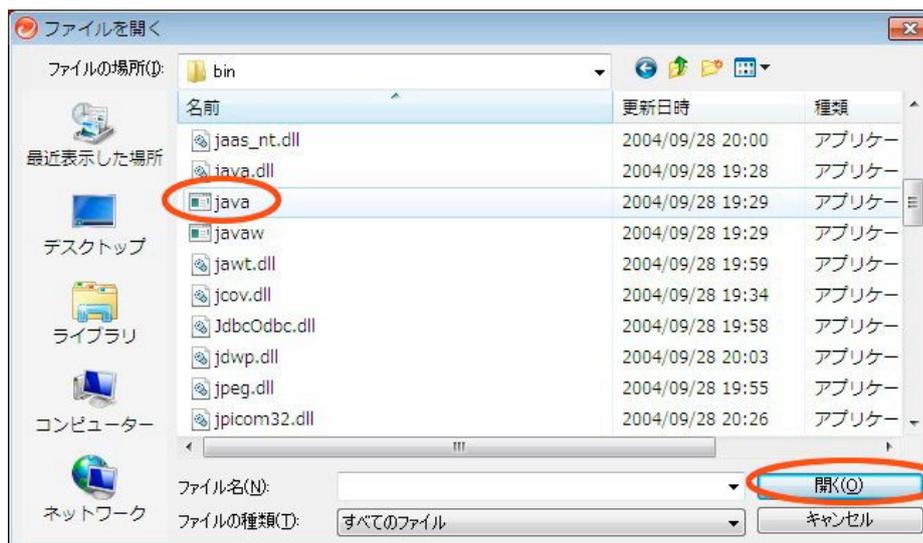
J2re1.4.2_06 を選択します。



bin を選択します。



Java を選択し、開くをクリックします。



設定：簡易設定を選択します。

処理：許可を選択します。

OK を押すと、一覧に java が追加されます。